

Press release

2020年9月17日
リフィニティブ・ジャパン株式会社

リフィニティブ、多様性と受容性に富む企業の世界トップ 100 社を発表

日本企業ではソニー、資生堂、野村ホールディングスの3社を選出
約1万社対象のESG観点に基づく5年目のD&I指数で明らかに

世界有数の金融データ・プロバイダーであるリフィニティブは、ダイバーシティ&インクルージョン・インデックス(以下「D&I指数」)でランク付けされた2020年の世界で最も多様性と受容性を備えた企業の上位100社を発表しました。本指数のレーティングは、世界の時価総額の80%余りを占める1万社近くの企業について、450件超の「環境・社会・ガバナンス(ESG)」のデータ項目の相対的なパフォーマンスを透明かつ客観的に測定し、重要でかつ差別化されたインサイトを提供するためにデザインされたリフィニティブのESGデータによって行われています。

今年のD&I指数で上位100社をリードした業界は、18社が含まれた銀行・投資サービス・保険、次いで9社の医薬品業界、また通信サービス、専門小売店業、個人・家庭用品がそれぞれ7社となりました。国別では、20社の米国がトップで、英国が13社、オーストラリアが9社、それにカナダとフランスが7社と続きました。

日本企業ではソニーが13位で最も順位が高く、それに資生堂と野村ホールディングスも上位100社の中に入りました。アジア・太平洋地域の企業を対象にしたランキングでは、ソニーがトップに輝き、資生堂が5位、野村ホールディングスが17位となりました。

D&I指数およびそのもとになる多様性と受容性の指標は、リフィニティブが展開する[Workspace](#)(ワークスペース)および[Eikon](#)(アイコン)から取得可能で、金融の専門家が投資において持続可能性に関わるリスクと投資機会を企業を評価する目的に加えて、多様性の視点から投資戦略を強化するために利用することができます。D&I指数は、「ダイバーシティ(多様性)」、「インクルージョン(受容性)」、「人材開発」、「論争・物議」の柱となる4項目のそれぞれで評価し、スコアを割り当てる革新的な分析手法を採用しています。4項目にまたがってスコアを得た企業のみ総合スコア(各部門のスコアの平均)が割り当てられます。その中で、総合スコアが最も高い上位100社がインデックス構成銘柄に採用されます。

リフィニティブのチーフ・リベニュー・オフィサーであるデブラ・ウォルトンは次のように語っています。「世界中の企業が、多様性のあるチームの活動を通じてより効果的な従業員構成を作り出すための指針として、当社のD&I指数が引き続き利用されていることを、喜ばしく思います。世界的パンデミックにより、多様性と受容性があらためて注目されており、私たちがみな同じ状況にあるという現実が浮き彫りになりました。データに基づくインサイトとその透明性は、より多様性と受容性に富む職場作りを成功させるための基本的な要素です。」

Press release

従業員の多様性と受容性は、環境・社会・ガバナンス(ESG)の主要テーマであり、金融に携わる専門家が投資戦略および資産分配を決定する際、頻繁に取り入れています。新型コロナウイルスをめぐる状況は、多様性が事業の回復と弾力性にとって極めて重要な理由であることを明らかにしました。企業がポスト・コロナ時代における新しい事業方針を模索している中、多様性と受容性の要素は、財務の回復力、環境リスク、従業員の健康とともに検討される必要のある課題です。

リフィニティブのESGグローバル責任者、エレナ・フィリポバは次のように述べています。「今年起こった世界的パンデミックと社会不安により、事業におけるさまざまなステークホルダーのグループから従業員の多様性と受容性に対して、より重点が置かれるようになりました。今年で5年目となるD&I指数は、企業において性別を超えて進む多様性について、それにコミットし、それを測定し、報告することがきわめて重要であることを顕著に示しています。持続可能かつ弾力性のある労働力は、とりわけ変化の激しい時代において、企業を支える糧となります。」

リフィニティブとして2回目となる年次報告で、当社は多様性と受容性の傾向について、以下の分野を網羅して分析しました。これには、過去5年間に上場企業が公表した多様性および受容性のデータ、Eikonのポートフォリオ分析を利用したロング・ショートポートフォリオ分析、今年度のD&I指数の構成企業(2020年第2四半期時点の調整済み指数)が含まれます。

リフィニティブD&I指数に基づく2020年度の年次報告のハイライトは以下の通りです：

- 文化的に多様性を有する取締役の数は過去5年で増加したものの、30%前後にとどまる
- 文化ならびに性別で多用性な観点では欧州・中東・アフリカ(EMEA)の企業がリード
- 地域別では、アフリカ企業では管理職の平均34%を女性が占める
- 柔軟な雇用体系を有する企業数は過去5年間で54%増加
- キャリア開発の方針を採用した企業は過去5年で25%増える

年次報告(英文)の詳細はこちらからご覧いただけます。<https://www.refinitiv.com/en/resources/special-report/diversity-and-inclusion-at-workplace>

2016年に開始したD&I指数は、「多様性」、「受容性」、「人材開発」、「論争・物議」の4つの基本項目における24の評価基準により、職場の多様性と受容性が最も高い世界の上場企業上位100社を特定しています。

Press release

D&I 指数の上位 25 社 とスコア (%) :

順位	社名	スコア
1	BlackRock, Inc.	81.00
2	Natura & Co Holding SA	80.25
3	Accenture Plc	80.00
4	Royal Bank of Canada	79.00
5	Industria de Diseno Textil SA	78.50
6	L'Oreal SA	78.00
7	Allianz SE	77.75
8	Telecom Italia SpA	77.75
9	Novartis AG	77.50
10	Bank of Nova Scotia	77.25
11	CCC SA	77.25
12	HERA SpA	77.00
13	SONY Corp	76.75
14	Toronto-Dominion Bank	76.00
15	Owens Corning	76.00
16	HP Inc	75.75
17	Enel S.p.A.	75.25
18	Estee Lauder Companies Inc	75.25
19	Societe Generale SA	75.25
20	Vodafone Group plc	75.00
21	Telefonica SA	74.75

Press release

22	Infrastrutture Wireless Italiane SpA	74.75
23	Roche Holding Ltd.	74.50
24	Home Product Center PCL	74.50
25	Salvatore Ferragamo SpA	74.50

日本の3社は以下の通りです。

順位	社名	スコア
13	ソニー	76.75
36	資生堂	73.00
84	野村ホールディングス	69.50

D&I指数の評価方法に関する詳細(英文)は下記をご参照ください。

<https://www.refinitiv.com/en/sustainable-finance/diversity-and-inclusion-top-100#methodology>

上位100社の詳細はこちらからご確認いただけます。

<https://www.refinitiv.com/en/sustainable-finance/diversity-and-inclusion-top-100>

リフィニティブは投資家の皆様のよりよい意思決定に役立つ革新的な指数およびインデックス関連のサービスを世界の金融コミュニティに提供しています。弊社が提供する指数ならびにインデックス関連サービスはいかなるニーズにも応じられるようにデザインされています。詳細については以下をご参照ください。

<https://www.refinitiv.com/ja/financial-data/indices>

注)本稿は、ニューヨーク時間 2020 年 9 月 16 日に発表された英文プレスリリースを基にしています。内容に相違がある場合にはリフィニティブのグローバルサイトに掲載された原文が優先します。

リフィニティブについて

Refinitiv(リフィニティブ)は世界有数の金融市場データのプロバイダーで、約 190 カ国で 4 万社を超える企業・機関にサービスを提供しています。全世界をカバーするデータとインサイト、トレーディング・プラットフォーム、市場データ・インフラストラクチャー、オープン・テクノロジー・プラットフォームを通じて、世界の金融コミュニティを相互に結び付け、発展を支えます。それによりトレーディング、投資、ウェルスマネジメント、規制およびマーケットデー

Press release

タ管理、企業が抱えるリスク、金融犯罪追対策などの分野においてイノベーションをもたらす先駆者としての役割を果たしています。詳しくはウェブサイトをご参照ください。<https://www.refinitiv.com/ja>

本件に関する連絡先

藤森 英明

広報担当

電話番号: (03) 6441-1504

JapanPR@refinitiv.com